

【第4号】

「タイランド4.0」が目指す新たな未来 ～日タイ企業連携はどう進むのか～（1）



前回のコラムではEEC開発について取り上げましたが、今回はタイ政府が打ち出した「タイランド4.0」政策に対し、日本企業がいかに連携を進めるべきかを書きたいと思います。

【タイはなぜ中進国の罠にはまったか？】

そもそも「タイは中進国の罠にはまっているのか？」も含めて事情の解明はかなり難しいテーマです。一つには現在進行形の問題であるからで、経済指標などが出そろった後、詳細な分析がなされるものと思います。しかしながら実務的にはそれでは間に合いませんので、個人的な経験や肌感覚を含めて理由をまとめると次のようになります。

タイは、1980年代から、外資主導の工業化を進めてきました。タイ自身もインフラ整備など、着実に進めてきており、経済発展を続けていると言えるでしょう。

21世紀に入り携帯電話の普及などの情報通信網の整備・普及やLCCなどにより国際渡航が容易になり人的交流や情報の取得が簡単になりました。公共インフラの整備途上でこのような劇的な環境変化が起きたため、

整備が進む都市と、地方の格差は広がっています。正確にいうならば、都市部でも新しく開発や再開発が進む地域はインフラが充実している一方で、古くからの地域は旧態依然としているところもあり、首都バンコクでも例外ではありません。今でも電線や電話線などが電信柱を蜘蛛の巣のように伝っているのがその象徴でしょう。

また、タイの一般市民が経済力を持ち始めたのも21世紀になってからで、国内市場も成長途中にあります。中国のように巨大な人口を武器として、国内市場をテコに近代化を図る手法は取れなかったということになります。

これまでの外資導入、海外市場をターゲットとした経済発展は、安価な労働力と不可分です。この事実に対して、幸か不幸かタイは地理的にASEANの中心に位置しています。同時に経済的な豊かさはシンガポール、マレーシアに次ぐ位置といえます。そのため、外国資本が安価な労働力を求めて周辺国に工場を移転させてしまう危険性に常にさらされているのです。さらに言えば、近隣国も少しずつ経済発展をし、ASEAN全体が底上げされたため、タイはさらに押

(次ページへ続く)

J-GoodTechは、日本の中小企業と、国内外の企業とをつなぐビジネスマッチングサイトです。

国内外での技術提携や販売提携など、幅広く事業展開を目指す企業の方は、ぜひご登録ください。



【第4号】

「タイランド4.0」が目指す新たな未来 ～日タイ企業連携はどう進むのか～（1）

上げられるように高い位置になりつつあります。このようにタイの中進国化は、周辺国から押し上げられた面もあるのではないのでしょうか。

【期待先行のタイランド4.0】

「タイランド4.0」は、一言で表せばタイが「中進国の罫」を乗り越えて先進国の仲間入りを果たすために描く、経済社会の長期的なビジョンです。ただし、そのコンセプトはタイのオリジナルではなく、ドイツ政府が進めている「インダストリー4.0」をタイの国情に合わせたものです。

「タイランド4.0」は必ずしも具体的な将来像を描いているわけではありません。その理由としてASEANの底上げの中で、中進国にとどまるのが難しく、先進国にキャッチアップするために最先端の分野を目指さざるを得ない状況があります。単純に先進国の後を追いかけるだけであれば、先例があることをやるのでリスクが少ない面がありますが、タイは先進国に肩を並べようとしているわけで、未知の世界に手を出すことになります。その意味でも具体的な将来像を描きにくいのではないのでしょうか。

現状で具体化しているのはこれまでに紹介してきたEEC（Eastern Economic Corridor: 東部経済回廊）の整備くらいのもので、まずはインフラ整備からという現実はこのような背景があります。

【タイランド4.0での主力産業】

「タイランド4.0」でタイ政府が重点産業としているのは、次世代自動車、スマートエレクトロニクス、医療ツーリズム、農業とバイオテクノロジー、食品分野、ロボティクス、航空・ロジスティクス、バイオ燃料やバイオ化学、デジタル技術などです。繰り返しになりますが、現時点では方向性が示され

たのみで、具体的な動きはこれからです。

言い換えれば、タイと関係の深い日系企業にとって、成長に一段感のあるタイにおいて、今後ビジネスチャンスが広がる可能性があることを示しています。いずれの分野も日本企業が得意とする分野ですが、私見では、有望な分野として、医療ツーリズムと次世代自動車をあげたいと思います。

J-GoodTechは、日本の中小企業と、国内外の企業とをつなぐビジネスマッチングサイトです。

国内外での技術提携や販売提携など、幅広く事業展開を目指す企業の方は、ぜひご登録ください。



登録・掲載のお申し込みは
WEBから「ジエグテック」で検索してください